

名古屋大学高等教育研究センター 第34回客員教授セミナー

研究大学における ティーチングアシスタントの役割

小笠原 正明 氏

東京農工大学
大学教育研究センター教授



講演概要

ティーチングアシスタント(TA)は、わが国の大学の一つの盲点になっている。大規模な研究大学では、90年代後半から多数の大学院学生がTAとして採用されるようになったが、導入に際して制度設計が十分になされなかったため、教育システムにおける位置づけ、待遇、研修、評価などがあいまいなまま推移している。TAは、現在では研究大学を成り立たせるための重要な柱であり、その導入に際しては「教育の組織化」が必要なことから、必然的に教育の戦略や方法の変化を引き起こしつつある。この講演では、カリフォルニア大学バークレー校の事例を紹介するとともに、わが国におけるTAの動向や、実践的なTAの訓練法や講義科目への導入の方法について説明する。

※ セミナーに出席を希望される方は、セミナー当日までに seminar@cshe.nagoya-u.ac.jp宛へご連絡下さい。(準備等の都合のためであり、必須ではありません。) セミナーは研究者、教育関係者、教育機関の事務担当者、学生(大学院生・研究生・学部生)、社会人など多くの方の参加を歓迎しております。また、セミナー開催情報メールサービスも是非ご利用下さい。

日時：2006年9月28日(金)

16時～18時

場所：名古屋大学 東山キャンパス
文系総合館 7階オープンホール

言語：日本語

お問い合わせ：

夏目 (内線5693)

052-789-5693

natsume@cshe.nagoya-u.ac.jp